

令和 2 年第 2 回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	1	質 問 者	東 出 善 幸	発言 時間	答 弁 を 求 める 者
質 問 事 項			質 問 の 要 旨		
1	つきがたみかづき商品券の再販売について	新型コロナウイルスに係る緊急経済対策として、つきがたみかづき商品券が販売されたが、即日完売となった。30%のプレミアムや自粛により町外へ買い物が行けない等が即日完売の理由と考えられる。ただ、定額給付金支給開始前の販売であり、購入できない方もいたのは事実である。 5月25日から定額給付金の支給が始まったが、再度、みかづき商品券の販売を行うことは考えていないか。伺います。		30分	町 長

令和２年第２回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	2	質問者	松 田 順 一	発言 時間	答弁を求 める者
質 問 事 項			質 問 の 要 旨		
1	J R 札沼線廃止後の 鉄道跡地利用について	鉄道跡地利用について、新十津川町では、廃止決定以前より水田に転換する計画を示していた。当別町では、廃止決定後から金沢地区の住民を中心にトラックを走らせたいとする町民有志の活動もあった。 月形町では、札沼線廃止問題が起きてから廃止後の今日まで跡地活用について議論がなされていない。今後の跡地活用について伺いたい。		20分	町 長
2	上坂町政１期目の総 括について	上坂町長は、すでに２期目に向けて９月の町長選に立候補を表明されている。この新型コロナウイルス対策の最中でありますが、町長には、１期目の総括が肝要と考えています。この間、札沼線廃止問題、月形高校存続問題、町立病院再編成問題など、町民にとっても大事で重要な課題が多数あった。町長自らの総括を伺いたい。		20分	町 長

令和 2 年第 2 回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	3	質 問 者	我 妻 耕	発言 時間	答 弁 を 求 める 者
質 問 事 項			質 問 の 要 旨		
1 「地域連携特例校」の実施状況と分析、及び月形高校への今後の取り組み体制について			①教育長に伺います。令和 2 年 3 月の前回定例会における私の一般質問「月形高校への取組みの検証、実施について」の中で、地域連携特例校を問うたものがあつた。教育長からは、すでに平成 31 年 3 月の定例会での答弁で、「地域連携特例校」内容を伝えているとの答弁書の記載だったが、前回の質問の補足として一つ伺うが、その 31 年 3 月の答弁で、31 年 4 月より道南の松前高校、そして空知管内では初めて夕張高校が「地域連携特例校」を導入すると述べていた。導入から 1 年が経った夕張高校の状況はどうであったのか。また、令和元年度には全部で 23 校あつた「地域連携特例校」の状況での好事例や問題点など、月形高校の「地域連携特例校」導入にその前例たちをどう取り入れたり、考慮したりするなど、事例を分析し活かしていくのかを伺いたい。 ②町長に伺います。前定例会の一般質問を通して、教育長からの答弁書を見ると、教育委員会が月形高校に対して様々な取組みをされていることがわかつた。生徒数の減少などといった取り巻く社会状況ものし掛かっている現在である。 しかし、月形高校の存続は、「地域経済や活性化のためにも重要な課題」であるとの認識といった答弁もあり、また第 4 次総合振興計画にも重点プロジェクトとして掲載されている。同時に「卒業生の母校を守る」「在校生を育てる」といったことのほかにも、何よりも在校生が「次のステップへの飛躍ができる」「有為な人間に育つことができる」などといったことに思いをめぐらすとき、「入学者を増やす」というその点だけでも多様な課題に取り組んでいかなければならない。教育行政にも取り組まなければならない教育委員会に、その任を今以上に任せることは酷である。 以上のことから、多岐な課題の解決には教育委員会ばかりではなく、ほかの部署・課を巻き込んだり、部署・課を横断して取り組む、また新しいチームの組み立てなど、これまでよりも行政全体で取り組むことも必要となると考えるが、町長の考えを伺いたい。	30 分	教育長 町 長

令和2年第2回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	4	質 問 者	宮 下 裕美子	発言 時間	答 弁 を 求 める 者
質 問 事 項			質 問 の 要 旨		
1 新型コロナ禍での地域支援について			新型コロナウイルスは様々な形で私たちの暮らしに影響を与えている。長期化する中で疲弊しつつある地域社会を守るため、国・道・町が分担しながら支援を行っているのが現状である。	60分	町 長
(1) 民間支援の方針			現段階で町は、商業者を中心に売上減少率や対策の有無などを基準に支援金支給等を行っている。今後はより広範囲の業種に影響が出ると考えられるが、どの範囲のどの程度まで支援をしていく考えか、伺いたい。(その都度といった場当たりのなものや、詳細具体的なものではなく、町としての方針を伺いたい。)		
(2) 感染症対策支援 (特に高齢者施設)			現在の支援策の多くは経済施策であるが、感染症対策にも支援強化する必要があるのではないかと。特に、高齢者施設はクラスター発生と重篤化のリスクが高いために対策に大きな負担を強いられているが、支援はない。月形町は、高齢化率42%超という現実からも、高齢者施設が平常通りに運営できることが町民の安心にも繋がる。 町長の考えを伺いたい。		
(3) 財源と人員の確保			全国的な緊急事態宣言は解除されたものの影響は今後も続き、少なくとも今年度中は地域支援が必要だと考える。その際の財源は、国や道からの交付金等はもちろんのこと、町独自に確保しなければならない。 そこで提案したい。新型コロナの影響で延期や保留にした今年度実施予定の事業は基本的に中止の決断をし、即減額補正をして新型コロナ対策基金(新設)に積み上げてはどうか。財源が明確になることで対策規模や範囲を町民と共有できる他、透明性や公平性を担保できると考える。また、事業の再検討に係る事務を減らして人員(職員の余力)を生み出すことができる。 この提案に対する町長の考えを伺いたい。		

2 新型コロナ禍での学校教育支援（ＩＣＴ環境整備）について	突然始まった休校が３ヶ月も続いたことで、子どもたちの負担はとても大きかったと推察する。学校と保護者と教育委員会が１つになって対応したと聞いているが、様々な課題が見えたのではないかと。私自身は早急なＩＣＴ環境整備の必要性を痛切に感じた。 そこで、以下の点について教育長に伺いたい。 (１)各家庭のＩＣＴ環境はどうなっているか。 (２)月形町でＩＣＴを活用したオンライン授業を展開しようとしたとき、何が障壁になるのか。 (３)国によるＧＩＧＡスクール構想があるが、今後のスケジュールと費用の概算のほか、近隣自治体の動向(新型コロナ対策として導入を急いでいる自治体も多いことから、機材不足等も含めての情報共有)。	３０分	教育長
3 新型コロナ禍での災害対策(避難所運営と通信環境整備)について	新型コロナ対策によって「新しい生活様式」が推奨されている。これまでの避難所運営では３密が避けられないことから、感染症にも対応した新たなマニュアルの作成と備品の準備が求められている。現在、月形町ではどのようなになっているのか。 また、緊急事態宣言による外出自粛によってリモートワークやオンライン会議等が一般化され、有用性も認知され始めている。災害時は移動が困難になることから、避難所に通信環境を整えることで情報収集や意見交換が活発にでき、町は全体像を把握しやすくなり、町民の安心安全にもつながる。 避難所の通信環境整備について、町長の考えを伺いたい。	２０分	町 長